

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 23 日

事務事業名	羽鳥地区環境美化運動助成事業					事業区分		担当	
	政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	050302000563
	政策体系上の位置付け					単独/補助	単独		050301
総合計画の施策名	0503 観光の振興					主要事業		所属課	商工観光課
政策名	05 魅力と活力のある産業社会づくり					市長マニフェスト			
施策名	03 観光の振興					未来PJ事業		グループ	商工観光グループ
基本事業名	02 観光資源の充実・開発					合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	01	07	01	04	01	00	→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
毎年7月に筑波観光道路沿いを地元羽鳥地区区長を中心に地区の皆さんが下草刈りや清掃作業を実施。	清掃作業の謝礼として羽鳥地区への報償費の支払事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
清掃作業の謝礼として羽鳥地区への報償費の支払事務	除草作業・清掃作業回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
観光客 (筑波山登山者)	登山者数	人	6,500.00	7,000.00	7,500.00	8,000.00	8,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
観光客 (登山者) を気持ちよく迎える。	好評価件数	件	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳		単価	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	30	30	30	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	30	30	30	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人	0.00人		
	述べ業務時間	時間	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00		
	人件費計 (B)	千円	3	3	3	0	0		
トータルコスト(A)+(B)				千円	33	33	33	0	0

事業費の内訳	27年度事業費実績 (千円)				28年度事業費予算 (千円)			
	01 報酬				01 報酬			
	30				30			
合計	30				30			

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	羽鳥地区環境美化運動助成事業	事務事業No.	50302000563	所属課	商工観光課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地元羽鳥地区の皆さんが地区の美化事業として自主的に始められた。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 筑波山登山者から、とても綺麗になると喜ばれている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	観光客（登山者）に誇れる清潔で美しいまちづくりにつながり、市の政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地元の協力を得て、道路の清掃を行うことは観光客（登山者）を気持ちよく迎えることができ、市の好評価につながるため妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	現状より多くを求めることは難しい。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止することによって市が作業を行なうことになるのは負担が多くなり影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）→	<input type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がない。美化運動をやっていない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	担当職員は1人であり、必要最低限である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	道路を利用するのは市民や筑波高原キャンプ場利用者、観光客であり公平である。また支払った報償費は羽鳥地区の自治運営に当てられている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	毎年7月に筑波観光道路沿いを地元羽鳥地区区長を中心に地区の皆さんが下草刈りや清掃作業を実施する事業である。この事業によって訪れた方々に気持ちよく登山や散策を楽しんでもらう環境が整備できる。																								
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
	(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																									
コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認